

第70号 令和2年11月1日発行



社会福祉法人 至誠学舎東京
高齢者総合福祉施設 吉祥寺ホーム

さくせすふる えいじんぐ

〒180-0001

東京都武蔵野市吉祥寺北町2-9-2

TEL 0422-20-0800

FAX 0422-20-0897

URL <http://www.kichijoji-home.com/>

発行責任者 大久保 実

発行 広報委員会

～ 健やかな高齢期を送るための合言葉 ～

敬老週間は特別メニュー

食事サービス室

今年度も食事サービス室では、9月14日から9月19日までを敬老週間とし、その間は毎日デイサービスへ、また配食をご利用いただいている方にも『敬老祝い膳』を提供させていたいただきました。



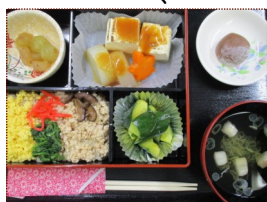
そして21日の『敬老の日』には養護老人ホーム・ナーシングホームご利用者へお祝い膳をお出ししました。今回は、敬老週間の献立をご紹介します。

この一週間は、毎日お重を使用し、清し汁は朱塗りの器に盛り付けました。おこわ、松茸ごはん、ちらしずしなどの変わりご飯や果物と甘味（上用饅頭・ねりきり）で季節感も感じて頂けるよう演出いたしました。

デイサービス献立

*9月14日

五色丼、
焼き豆腐の味噌がけ、
たたき胡瓜、
清し汁、
巨峰、
秋の実り
(栗のまんじゅう)



*9月15日

青菜ごはん、
黒むつの西京焼き、
茄子の煮びたし、
清し汁、
メロン、
鶴亀の舞(まんじゅう)

*9月16日

栗ご飯、
鶏肉のさつぱり煮、
人参のきんぴら、
清し汁、
梨、
深紅葉(まんじゅう)

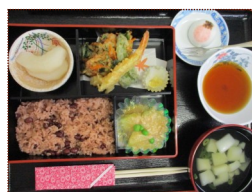
*9月17日

おこわ、
てんぷら、
じゃが芋のそぼろ煮、
清し汁、
梨、
寿の日(まんじゅう)

*9月18日

ちらし寿司、
鶏肉と野菜の
甘酢和え、
春雨の和え物、
清し汁、
オレンジ、
秋の彩(まんじゅう)

敬老の日



*9月19日

松茸ごはん、
さんまの塩焼き、
春菊の
きな粉ごま和え、
清し汁、
メロン、
秋桜(まんじゅう)

*9月21日

松茸ごはん、
天ぷら、
銀だら西京焼き、
炊き合わせ、
紫花豆含め煮、
紅葉なます、
清まし汁、
ねりきり、
メロン(ナーシングはメロンゼリー)

養護老人ホーム、 ナーシング献立



季節感のある松茸ごはんにメインは天ぷら(海老、さつま芋・椎茸・いんげん)。ふっくら焼けた銀だらの西京漬は脂がのついていてたいへん好評でした。炊き合わせは六方芋、秋茄子、オクラ、人参に旬の栗を添えて…なますは黄菊・胡瓜・きくらげなど6種類の具材で彩りよく仕上げました。炊き合わせの人参とお吸い物の麩はもみじの形、なますは色づく紅葉をイメージしてこれから向かう秋を感じていただけたようにいたしました。



☆秋のイベント☆

吉祥寺老人ホーム(養護)



10月31日はハロウィンでした。ハロウィンで定番のフリース「トリックオアトリート」は、日本語に訳すと「お菓子をくれないとイタズラするぞ。」ですが、もともとは収穫を邪魔する悪霊を追いつぶすために、ケーキを捧げる習慣だったそうです。転じてお化けの仮装やお菓子をあげる習慣が残り、今ではとても楽しいイベントになりました。



毎年この時期になると、主に渋谷の様子がテレビや新聞で報道されますね。若者を中心に、ここぞとばかりに思い思いのコスプレや衣装を着て、スクランブル交差点に集まってきました。

仮装をして街を歩く様子は、おそらく収穫祭の本来の姿とは少し違うのですが、日本独特の新しい文化として定着しつつあります。

しかし一方で、毎年ハロウィン後に残る大量のゴミを見ると、心が痛くなりますね。特別な日に限らず、普段から気を付けていきたいものです。



さて、養護老人ホームでは、9月21日(月)、敬老のお祝いとして、昼食に特別お祝いご膳をご用意しました。

例年は多方面からたくさんのお客様をお招きして、式典を行っていました。そしてご来賓の方々よりお言葉を賜り、代表者の方に記念品を頂くのですが、コロナウイルスの影響で催し自体が中止になり、今年は少し寂しくなっていました。

それでも食事は厨房職員の頑張りもあり、とても豪華なメニューをご用意出来ました!



秋の味覚、松茸ごはん、天ぷら、銀たらの西京焼きなど。デザートはメロンにねりきり。テーブルに並べられる華やかなお料理を前に、みなさん舌鼓を打ちながら召し上がっておられました。

吉祥寺老人ホームの最高齢は、大正6年生まれの103歳!

これからまだまだお元気でいてくださいな!



ナーシングホームの敬老祭

吉祥寺ナーシングホーム(特養)



ナーシングホームもコロナ禍ではありますが、9月21日の敬老の日に敬老祭を開催しました! ボランティアさんなどをお呼びすることはできませんでしたが、午前中にホーム長からの挨拶の後、

長寿のお祝いの人に「卒寿」「米寿」などと書かれた職員手作りのメダルを贈呈しました。



皆さんとても喜んでくださいました。贈呈式の後はお祝いのご飯です。松茸ご飯やてんぷらなどがそれぞれの小鉢に分かれており、とてもきれいに盛り付けされていました。



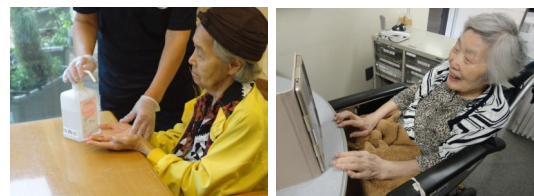
午後は例年なら武蔵野市長が直接ナーシングホームにご来訪くださり



祝辞を頂くのですが、今年はビデオレターでした。ご利用者は新しい時代の祝辞動画を真剣にご覧になっていました。

例年に比べると少し寂しい敬老祭でしたが、なんとか無事に開催することができました。先の見えないこの状況下で、皆様にはご不便をおかけしています。

ナーシングホームでは、7月頃からオンライン面会、電子錠前での面会を始めています。また利用者さんの安全を守るため、床、手すり、テーブルなど手に触れる所は日常的に消毒し、こまめな換気を行っています。今できる対応を行い、今のところ幸いなことに感染者は出ていません。季節が移ろい冬になるにつれて、



空気が乾燥していきます。皆様もお身体に気を付けてお過ごしください。



敬老週間

デイサービスセンター



9月14日から9月19日の6日間、敬老祝賀会を開催しました。

吉祥寺ナーシングホームデイサービスセンターをご利用の方で最高齢は102歳で、39名の方が賀寿を迎えられました。今年は新型コロナウイルスが流行している影響で、例年日替わりで行っていたボランティアの方々の余興をお楽しみいただくことは出来ませんでした。職員がお祝いの気持ちを含めて紅白の垂れ幕やお花紙で紅白の花を作ったり、長寿のお祝いや願いを込めて「無病息災」「千秋万歳」等の言葉が入ったのぼり旗も飾って準備をしました。式典ではホーム長からのお祝いの言葉や記念品の贈呈、賀寿者の紹介やインタビュー等も行いました。



インタビューでは「一人暮らしだ



から、ここに来ることがとても楽しみです。これからもデイに通うのを楽しみにしています」と言っておっしゃる方や、「いつの間にか、こんなに長い時間が過ぎていくことに驚きました。それだけデイサービスにも長く来ているということですね」と感慨深く話される方、美の秘訣を伺うと「ヨーグルトパックが良いのよ」と教えて下さる方もいらっしゃいました。

お食事の祝い膳は「豪華だから、いつもより沢山食べちゃった」という声が聞かれました。「脂がのついてとても美味しかった」と、黒むつ

の西京焼きが特に好評でした。来年は新型コロナウイルス感染症の流行が終息して、例年通りのにぎやかな敬老祭が行えることを願っています。



これからの冬も元気に過ごそう！

在宅介護・地域包括支援センター

前回のさくせすふるえいじんぐでは、「新しい生活様式」についてお伝えしました。



そのおさらいですが、新しい生活様式で大事な①ソーシャルディスタンスの確保②マスクの着用③手洗いを一人一人が実践することです。どうでしょう、実践できていますか？

一時はマスク購入のために何時間も店頭で並ばなければならなかったこともありました。今では薬局やコンビニエンスストア等で以前のように購入できるようになりました。

使い捨てマスク以外にも、色々なメーカーが作ったものが比較的手軽に購入でき、中には自作している方もいて、使用する場面によって選択できる幅が広がっています。

日常においてマスクの着用が自然なことになり、これぞ「新しい生活様式」となりました。ですがここで、少し気を付けたいことについてもお伝えしたいと思います。

皆さんの中で、新しい生活を意識するあまり、これまでの習慣をいくつも止めたという方はいませんか？



例えば、今のこの世の中でできれば買い物でスーパーマーケットを訪れる回数は減らしたいですね。

買い物の回数を減らすために、家に残っているものを確認してから買い足したいものをメモして出かける。この作業は在庫を無駄にしないためにも、頭の運動のためにもとてもいいことです。

でも買い物に出かける回数が減ったと同時に歩く機会も減ってしまった。これは、感染症対策とは別のリスクが高まる恐れがあります。

そのようなときは、ぜひ散歩する機会をもってください。

買い物や散歩などで外に出るときはマスクを忘れず着用して、家に帰った時や掃除のあとは石鹸と流水でしっかりと手洗いをする。

このことでインフルエンザの感染予防にもなります。ちょっとした気づきや工夫で、この冬も元気に過ごしましょう！

新職員の紹介



異動で吉祥寺ナーシングホーム在宅介護・地域包括支援センターに配属となりました。木村由紀と申します。これまでは西東京勤務していましたが、一日も早く吉祥寺北町博士になれるよう精進します！どうぞよろしくお願ひします。

ウィズコロナ ボランティアの挑戦

吉祥寺ホーム（ボランティア）

《通信とブログで俳句クラブ》

柴田 潔

今年はコロナ騒ぎで二月以降、クラブ室での俳句講座はお休みですが、俳句クラブは騒ぎなど意に介さずの姿勢で行きたいと思っています。もっとも句会の醍醐味は顔突き合わせてのおしゃべり、でもそれが思うに任せぬとあるならば、俳句には投句という手段があります。それに当方作成の俳句クイズを加えて、皆さん、紙上で繋がりましょう、ということです。ある時の投句に俳句クラブのSさんが、

見栄切れど今年は淋し菊人形と詠んで来られました。句の心、痛い程によくわかります。そうした上で、その句をお借りして、

見栄切って目に物見せよ菊人形と、コロナ騒ぎに向い、詠み放ちたい気持ち私が私にはあります。



とここで暦の上ではそろそろ冬。そこで俳句クイズ一問。

（一）一枕しじみと冬来たりけり

・茶・白湯

句は草間時彦さんの作。さて空欄に入るのはどちらでしょう？

ヒント（一）健康法なるものあり。

《写真でミニギャラリー展示》

上田 幸孝

自粛生活で思ったことは「気ままに街を歩きたい」「友人と雑談したい」「旅に出たい」でした。在宅の中で写真を整理しながら過去の旅や出来事を振り返り、写真は記録にとどまらず人生を振り返る上で貴重な道標だと思いました。そして今後も写真を通じて人々と社会ともかわりを持つてゆきたいと思いました。



もう一人のカメラボランティア 湊さん



「おうちで花育苗」ご寄付 柳澤さん



リモートで音楽療法 上田先生



フェイスシールドでカット 竹内先生

施設への立ち入りはご遠慮いただいています。が、このような試みが秘かにスタートしております。ボランティアの皆様ご協力ありがとうございます。

吉祥寺ホームにおける職員研修

吉祥寺ホーム（事務企画室）

吉祥寺ホームでは、法人全体の研修を含めて年間で延べ10回以上の職員研修を行っています。その中には介護保険施設の運営基準で研修を義務付けられているものもあります。

年2回開催研修

- 感染症及び食中毒の予防及び蔓延の防止のための研修
- 事故発生防止研修
- 個人情報保護研修
- 高齢者虐待防止研修
- 身体的拘束等の適正化研修

こちらは法人全体で一回、施設にて一回の計2回開催しています。出席出来なかった職員も、録画ビデオを観て必ず研修を受講するようにしています。

その他、法人内で開催している研修

- 褥瘡予防対策研修
- 救急救命研修
- 看取り研修
- 認知症ケア研修
- アンガーマネジメント研修
- 新入職員研修
- 入職後フォローアップ研修等



他にも管理職向け、各職務に応じた研修が開催されています。

オンラインを利用した研修

新型コロナウイルス感染症が蔓延し始め、世の中もリモートワークが盛んになり始めた頃、法人内での研修や会議がオンラインで開催されるようになりました。換気しながら密にならないよう注意して受講しています。



ZOOMでの研修参加

外部の研修もオンライン研修が増えていきます。10月末に「社会福祉法人・事業所におけるホームページ、SNSを活用した情報発信を考える研修会」に参加しました。今回はこちらからの映像や音声は届けることなく受講する形式でした。開始前は内容がわかるか、うまく受講できるかどうか心配でしたが、何の不都合もなくわかりやすい研修でした。新型コロナウイルス感染症が終息した後もこういった研修は続くのではないかと思います。

